

# エクストリームシリーズ 2024 奥多摩大会

## ■初出場チーム コメント

### 『冒険少年』

#### 鍋木 絃太さん（中学1年生）

奥多摩大会ではお世話になりました。僕は逗子という小さな街で「トビウオ」という海と山で遊ぶクラブで活動していました。

僕は逗子全体を使ったアドベンチャーレースに初めて小学4年生の時に出了ました。その時は全然強くはなかったんですけど、その時がアドベンチャーレースに沸騰した原点です。

そこで6年生のときに今回もいた永井巧（タクちゃん）が葉山アドベンチャーというのを見つけて、僕はすぐに出ることになりました。葉山アドベンチャーレースは今回優勝したちよらんまさん（きらりん）がやっている葉山のアドベンチャーレースです。

僕はそこで初めて EASTWIND のチームと戦いました。順位は最下位から2番目だったんですけど、悔しかったのもあるし、また色んなアドベンチャーレースに出たいなと思い奥多摩アドベンチャーレースに出会いました。

4年前にはお母さんが大会に出て失格になってしまって、奥多摩アドベンチャーは難しいぞと聞き、ますます頑張りたいと思いました。

大会に行ってみたら葉山アドベンチャーにもいた冒険中毒さんなど知っているチームが多数あった中、奥多摩大会では15位という結果を出して嬉しかったです。

次は目標10位以内を狙って頑張っていきたいです。

奥多摩大会に協力している方々サポートの方々ありがとうございました。また出る機会があったら出たいです。

鍋木絃太 冒険少年代表

## ■優勝チーム コメント

『ちょらんま』

### 安田 光輝さん

1day アドベンチャーレース【エクストリームシリーズ奥多摩大会】に、3年連続でござー、まさに、キラリンの3名チームで出場してきました。

今回のコースは、エクストリームシリーズ恒例【スタート直後のチームチャレンジ】がなく、トレッキングスタート。

CP1～6を順不同で獲りにいくロゲイニングスタイルで、CP4にチームチャレンジ、CP6にカヤックセクションが含まれており、取りに行く順番を上手く考えないと他のチームとチャレンジが被って順番待ちすることになりかねない、戦略が重要となるステージが用意されていました。

うちのチームは混み出すと1番面倒なカヤックセクションを早い段階で終わらせた後でチームチャレンジを獲りに行く作戦でスタート。

作戦が上手くハマってチャレンジ順番待ちの列にも捕まることなく回る事ができました。

トレッキングの後にはバイクセクション。今回もガンガン漕いでCPを回るのかと思いきや、CP1個分だけ。CPに着いたらマス釣りのチームチャレンジが待っていました！

後ろから後続のチーム来ていないかソワソワしながらの釣りはなかなか上手いかず、かかった！と思ったら逃げられるのが続きました。

4投目でなんとかヒット、追いつかれずにパスすることができたのは嬉しい！

マス釣りチャレンジのあとは奥多摩大会恒例【ラインオリエンテーリング】！

指定されたコース上のどこかにCPが設置されており、実際にコースを歩いてCPを見つけたら、地図上にCPがあった場所と同じ箇所にプロットするゲームです。少しでもズレると+20分のペナルティが課されるのでいつもの地図読み以上に緊張するセクションです。

ただ今回は後続チームと差があった事で、CPを見つけた後も前後の地形をしっかりチェックする余裕があった事で自信を持って地図にプロットする事ができました！

また、今回のラインオリエンテーリング区間は川乗溪谷が含まれていて、今回のコース上で1番奥地に設置されていたCPが「百尋の滝」に設置されていたので、川苔溪谷の新緑と滝が続く最高のロケーションをしっかりと堪能する事ができました。

「百尋の滝」のCPをとった後は折り返し、マス釣りチャレンジをした場所まで引き返します。ひたすら下り基調の道なので、走れるところはなるべく走ります。途中2位のチームと出会うと差はCPポイント1~2個分の差！

油断してスピードを緩めれば追いつかれるので、特にロードに出てからはガシガシ走って戻りました。

ゼーハーしながらマス釣り場まで戻ると、釣っておいたマスが塩焼きになっていて食べられるサプライズ！汗だけで帰ってきた身体に塩味の効いたマスは最高でした！ご馳走様でした。

マスを頬張りながら自転車に乗っかりラストのCPを獲り、ゴールを目指すのみ！ラスト急勾配の坂を漕ぎ切って無事1位で帰ってくる事ができた時にはやっとホッとする事ができました。

3人がお互いの役割を上手く果たす事ができたこと、ラインオリエンテーリングでは3人とも地図を読み相互チェックをして答えを出せたこと等、NISEKO EXPEDITIONに向けて良いチームワーク練習をする事ができました。

7月の本番に向けて、少しでも力をつけられるようこれからもレース・トレーニングに取り組みたいです。

大会を開催・運営して下さったスタッフの皆様、一緒にレースに参加した選手の皆様ありがとうございました！また次回もよろしくお願い致します！